



令和 7 年 1 月 29 日

四国地方整備局

「四国クルーズ会議」を初めて開催します

四国地方整備局は、クルーズ船等の受入や持続可能なクルーズ振興を通じた地方創生を目指す取り組みとして、クルーズ船の誘致を担当する行政や観光団体が一堂に介する「四国クルーズ会議」を開催します。

クルーズ船社等招聘者の講演や意見交換を通じ、四国地域の観光コンテンツの磨き上げやクルーズ船等受入の各種課題に係る認識を共有し、クルーズ船等の寄港増加を目指します。

四国地方整備局では、クルーズ船の受入に必要なハード整備及びクルーズ誘致に必要なソフト対策に支援を行うなど、受入自治体とともにクルーズ寄港促進に取り組んでおり、その取組も相まって2023年のクルーズ船寄港回数は四国としては過去最高の109回※を記録しました。

※株式会社せとうちクルーズが運航する「ガンツウ」を除く

1. 開催日時 : 令和7年2月4日(火) 13:00~18:10 (受付: 12:30~)
2. 会 場 : かがわ国際会議場(香川県高松市サンポート2-1)
3. 主 催 : 四国地方整備局
4. 内 容
 - 1) 主催者挨拶 四国地方整備局 港湾空港部長 池町 円
 - 2) 基調講演「クルーズの最近の動向について」
講師: 国土交通省港湾局産業港湾課クルーズ振興室長 林 雄介
 - 3) 特別講演①「小型ヨットスタイルでめぐる新時代のクルーズ提案」
講師: Rヨットプロジェクト株式会社 シニアマリタイムマネージャー 松井 克哉
 - 4) 特別講演②「クルーズ人口拡大に向けてのジャパネットの取組」
講師: 株式会社ジャパネットツーリズム シニアリーダー 簗原 一隆
 - 5) 特別講演③「外国客船船社が求めるもの」
講師: 株式会社リライフ ブルー・オーシャン・エージェンシー 事業開発部長 濱屋 大地
 - 6) 特別講演④「小型船によるプライベートクルーズの現状とこれから」
講師: 株式会社 SETOUCHI SEAWIND 代表取締役 小西 智都子
 - 7) 招聘者と四国4県とのディスカッション 以上 敬称略
 - 8) 招聘者と参加自治体等との意見交換会
5. 取材要領 : 会議の傍聴・撮影が可能です。(報道関係者以外の方は傍聴できません)
2月3日(月)正午までに別紙3「取材申込書」にて申し込みください。

【問合せ先】

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室 TEL 087-811-8360【直通】

室 長 田村 晃一

○課長補佐 真砂 澄男 ○: 主な問合せ先

講演者 プロフィール(敬称略)

松井 克哉

Rヨットプロジェクト株式会社
シニアマリタイムマネージャー

1994年 12月 日本クルーズ客船株式会社
三等航海士として入社

2014年 5月 客船ぱしふいっくびいなす
船長就任

2023年 2月 クルーズ船社ポナン社
相談役就任

2023年 7月 より現職
(ポナン社相談役兼務)

簗原 一隆

株式会社ジャパネットツーリズム
シニアリーダー

2014年よりクルーズマーケットに従事。
国内、国外の発着の船社、乗船客の
ショアエクスカージョンに関わり、さ
らにクルーズを介した医療問題、渋滞
問題、諸問題など日本全国の寄港時の
ケアを行う。現在は、日本人マー
ケットに特化し年間約40,000人の日本
人を取扱い、クルーズ人口拡大に寄与
している。

濱屋 大地

株式会社リライフ ブルー・オーシャン・エージェンシー
事業開発部長

総代理店Wilhelmsen Port Services
にて客船をメインに担当。コロナ禍
のDiamond Princess 緊急対策チーム
に社の代表とし参加。2024年1月横
浜・東京の客船代理店であるBlue
Ocean Agencyを立ち上げる。

小西 智都子

株式会社SETOUCHI SEAWIND
代表取締役

瀬戸内海の有人島100島以上を訪れ、
島関連の雑誌や書籍を多数制作。豊富
な島の知見とネットワークを生かし、
19年島旅専門トラベルサービス「(株)
SETOUCHI SEAWIND」設立。23年には
チャーター船事業を開始。国内外の富
裕層向けにプライベートクルーズを提
供。

会場のご案内

高松シンボルタワー

タワー棟 6階

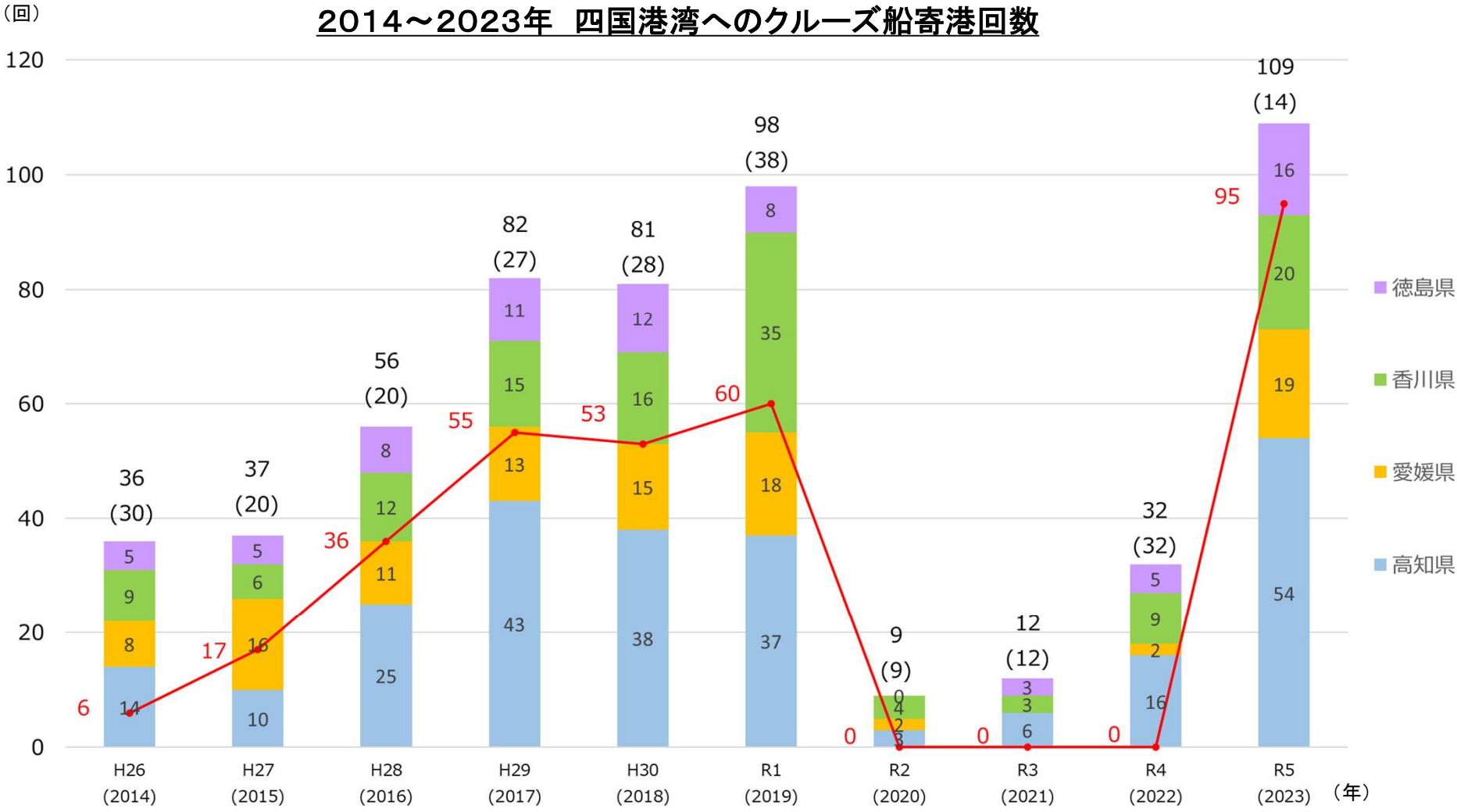
かがわ国際会議場

(香川県高松市サンポート 2-1)



四国港湾へのクルーズ船寄港回数について

○2023年の四国港湾へのクルーズ船寄港回数は計109回となり、過去最高を更新しました。
○なお、2023年は四国港湾へ外国船が4年ぶりに寄港し、寄港回数は計95回(2019年比58%増)となり、過去最高を更新しました。
○各県別では、徳島県16回、香川県20回、愛媛県19回、高知県54回です。
※株式会社せとうちクルーズが運航する「ガンツウ」を除く



※()書きは、日本船者の運航する船舶の寄港回数を示しており、内数である内数字は外国船寄港回数である。
赤の折れ線グラフ及び数字については、外国船社の運行する船舶の寄港回数を示している。
株式会社せとうちクルーズが運航する「ガンツウ」を除く。

四国地方整備局

クルーズ振興・港湾物流企画室 宛

メール: pa.skr-cruise@gxb.mlit.go.jp

令和6年度 四国クルーズ会議 取材申込書

貴社名: _____

連絡先: TEL _____

(代表者の連絡先)

※取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入してください。
取材当日に変更等が生じた場合に連絡させていただきます。

取材者氏名 1) (代表者) _____

2) _____

3) _____

令和7年 2月3日(月) 12時までに

メール 送信をお願い致します。

※傍聴者数によっては、お席を用意できない場合もありますので予めご了承下さい。